



女性議員を取り巻く現状を踏まえ、意見を述べる(左から)加藤鮎子衆院議員、大沼瑞穂参院議員

第2次世界大戦の後、衆院議員選挙法が改正され、女性参政権が実現してから12月で70年が経過した。この間、女性が活躍する場は徐々に広がってきたが、国会議員全体に占める女性の割合は

国際的に低い水準にとどまっている。女性国会議員を取り巻く現状と課題について、県内選出の加藤鮎子衆院議員(自民)と大沼瑞穂参院議員(同)に座談会形式で聞いた。

座談会 女性参政権70年 女性国会議員の現状と課題

# 子育ての経験生かす

山形県内選出の女性国会議員と女性県議	
任期	氏名
【衆院議員】	
1946年4月～47年3月	米山 文子 (諸派)
2014年12月～	※加藤 鮎子 (自民)
【参院議員】	
2007年7月～13年7月	舟山 康江 (民主)
13年7月～	※大沼 瑞穂 (自民)
【県議】	
1951年4月～55年4月	佐藤 はる (南置賜郡)
51年4月～63年4月	五十嵐 なみ (東田川郡)
55年7月～71年4月	福島 せい (東置賜郡)
75年4月～79年4月	須藤 美也子 (鶴岡市)
91年4月～99年4月	奥山 静枝 (新庄市)
2003年4月～09年8月	和嶋 未希 (酒田市)
07年4月～	※大内 理加 (山形市)
07年4月～	※渡辺 ゆり子 (山形市)
07年4月～11年4月	竹田 千恵子 (東置賜郡)
(*は現職。敬称略。比例は除く。かつこ内は国会議員が当選時の政党、県議は当選時の選挙区)	

## 議員増へ活発な議論 政界進出する風土に 加藤氏

加藤 地方と国のパイプ役を果たすため、地元の鶴岡市と東京を行ったり来たり生活だが、長男(3)がおり、子育てとの両立は難

大沼 山形県の高卒者は年間1方1千人いるが、そのうち6千人が県外に流出している。地域づくりの主体はほとんど男性で、地方創生の観点から女性が地域のために戻ってくる機運を醸成し、若い女性の政治意識を高めることが重要だ。

加藤 地方と国のパイプ役を果たすため、地元の鶴岡市と東京を行ったり来たり生活だが、長男(3)がおり、子育てとの両立は難しいと感じている場合が多い。

大沼 私は長女(3)がいて、子どもが高熱を出した際のケア、保育士の処遇など、より深部にある課題について気が付き、抽出することになる。

大沼 私は長女(3)がいて、子どもが高熱を出した際のケア、保育士の処遇など、より深部にある課題について気が付き、抽出することになる。

加藤 地方と国のパイプ役を果たすため、地元の鶴岡市と東京を行ったり来たり生活だが、長男(3)がおり、子育てとの両立は難しいと感じている場合が多い。

女性参政権 連合国軍総司令部(GHQ)のマッカーサー最高司令官の指示に基づき、第2次世界大戦後の1945(昭和20)年12月、改正衆院議員選挙法の公布で実現。選挙への立候補と投票を通じ、女性が直接的、または間接的に政治に参加することが可能になった。戦後初となる46年4月の第22回衆院選で、山形県選挙区のみ山本文子氏(諸派)を含む39人の女性が当選した。

加藤 地元で若い女性が駆け寄ってきて「飲食店で働いているが、十日の保育料が高過ぎる」などと窮状を訴えることがある。子育てをする母親の声を拾えるのは女性議員ならではの。来年夏は女性議員ならでは。来年大沼 諸外国はクオータ制の導入が

大沼 私は長女(3)がいて、子どもが高熱を出した際のケア、保育士の処遇など、より深部にある課題について気が付き、抽出することになる。

加藤 地方と国のパイプ役を果たすため、地元の鶴岡市と東京を行ったり来たり生活だが、長男(3)がおり、子育てとの両立は難しいと感じている場合が多い。

大沼 私は長女(3)がいて、子どもが高熱を出した際のケア、保育士の処遇など、より深部にある課題について気が付き、抽出することになる。

加藤 地方と国のパイプ役を果たすため、地元の鶴岡市と東京を行ったり来たり生活だが、長男(3)がおり、子育てとの両立は難しいと感じている場合が多い。

大沼 私は長女(3)がいて、子どもが高熱を出した際のケア、保育士の処遇など、より深部にある課題について気が付き、抽出することになる。

加藤 地方と国のパイプ役を果たすため、地元の鶴岡市と東京を行ったり来たり生活だが、長男(3)がおり、子育てとの両立は難しいと感じている場合が多い。